



# Town & Gown構想の多層展開によるアカデミック・エンタープライズの本格稼働 ～大学が先導する地方創生モデルの確立と海外共創の場形成を基盤とする持続可能な発展を導く科学の実践～

※アカデミック・エンタープライズ：地域課題や社会課題の解決に即応する教育、研究、社会貢献へと転換することで新たな大学経営資源を獲得し、さらに高度な課題解決に貢献する好循環を生み出す大学経営モデル

## ■ 構想概要

- 大学と地方都市が共に発展を目指す「**Town & Gown構想**」の更なる推進により、**まちづくりと研究力強化の好循環を創出する世界レベルの研究拠点を核としたイノベーション・エコシステム**を完成させる。「**デジタル田園都市国家構想**」の実現モデルの一つとして確立させ、**全国へ展開**する。
  - 海外における共創の場形成**により、Town & Gown構想の取組や成果を**海外へ展開**。戦略的外部資金を継続的に獲得できる基盤を形成し、新たな経営資源により**ポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点を構築**する。
- ➡ **アカデミック・エンタープライズ**を本格稼働させ、世界トップクラスの教育研究拠点として国際的プレゼンスを高め、**本学の理念の具現化**を図る。

## 「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界トップクラスの教育研究拠点の構築

これまでの経営改革の成果を基盤としたアカデミック・エンタープライズの本格稼働

### ■ 取組① Town & Gown構想の推進 – 大学と地方都市が共に発展するデジタル田園都市国家構想の実現モデルの確立 –

- スマート学園都市の形成と研究力強化の好循環を創出するイノベーション・エコシステムの完成
- Town & Gown構想の広島県内への展開
- Town & Gown構想の更なる拡大に向けた経営基盤の強化

### ■ 取組② 海外における共創の場形成モデルの展開

- インドネシアの同窓生ネットワーク組織（チャプター）と連携した海外共創プラットフォームの構築
- ベトナムへの海外共創の場形成モデルの展開
- その他の国・地域の特性を踏まえた新たな海外共創の場形成モデルの展開

### ■ 取組③ 大学と地方都市が共に発展するモデルの国内展開

- 本学が東広島市と確立したTown & Gown構想を、全国Town & Gown構想推進協議会（仮称）により国内展開
- 「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」参画機関とも連携し、特に中四国地方におけるイノベーション・エコシステムを構築

### ■ 取組④ ポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点の構築

- 平和と持続可能性を同時に達成するトランスディシプリナリー研究領域を推進する広島大学FE・SDGsネットワーク拠点NERPS※の強化・拡大により、世界の人間の安全保障の確立に寄与する
- ポストSDGsを主導する世界的なPeace and Sustainability拠点として設置したIDEC国際連携機構を中心とした国際貢献に資する実践研究と人材養成

※Network for Education and Research on Peace and Sustainability

\* 赤字箇所：令和2-3年度国立大学経営改革促進事業における取組の成果

## ■ 第3期中期目標期間までに実現した経営改革の成果・実績

#### 【産学官連携の推進】

- オープンイノベーション事業本部を中心とした大型共同研究の推進
- Town & Gown Office設置、産学官一体で運営**
- 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム、ひろしま好きじゃけんコンソーシアム設置

#### 【財源の多様化による財務基盤の強化】

- 広島大学が躍動し、広島の地を活性化させる基金の創設
- 企業版ふるさと納税制度を活用した実証研究基盤構築スキームの確立**

#### 【人事給与とマネジメント改革・ガバナンスの強化】

- 全学教員組織を一元化した「学術院」の設置
- 「全学人事委員会」の下、教員人事の全学一元管理
- 若手育成助成制度
- 新デデュアトラック制度
- IR本部を中心とした大学経営におけるEBPMの推進
- 新たな教員個人評価制度の導入

#### 【グローバル戦略の展開】

- オンライン型海外派遣「e-STARTプログラム」新設**
- アリゾナ州立大学センターバードグローバル経営大学院-広島大学グローバル校の設置**
- 広島大学森戸高等教育学院北京校の設置
- 宿泊機能を有する国際交流拠点施設「広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ」竣工**



共同研究収入  
【R3】15.8億円 (H27比：+9.5億円)



専任教員数における若手教員の割合  
【R3】26.4% (H28比：+7.7%)



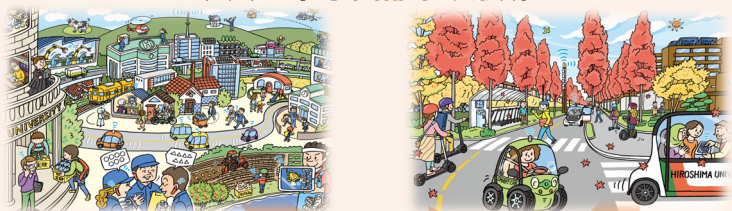
論文の国際共著率  
【R3】35.6% (H27比：+7.8%)



# 取組① Town & Gown構想の推進 —大学と地方都市が共に発展するデジタル田園都市国家構想の実現モデルの確立—

## ■スマート学園都市の形成と研究力の強化の好循環を創出するイノベーション・エコシステムの完成

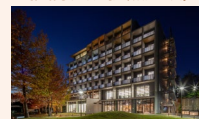
### スマート学園都市の形成



### 未来を創造する拠点施設

地域全体の産業構造の変革の中心となり、広島県及び中四国全体にイノベーションを巻き起こす拠点

**ミライクリエ**  
(国際交流拠点施設)



**SkySong型**  
インキュベーション拠点



**SkySong 0**

- ・研究者、企業人財の集約、資金の集約のための呼び水
- ・大学の教育研究活動が中心

**SkySong 1~**

- ・地域住民、地域経済活性化に資する施設
- ・経済が中心

研究者、外国人、  
企業人財等の多様な  
頭脳集積・循環



海外における共創の場の展開先  
各国パートナー企業の参画



### イノベーション創出・産業振興のコア分野における関連企業の参画・集積

- ・本学の強みであり地方創生の核となる、デジタル田園都市の形成に向けて、ひろしま好きじゃけんコンソーシアム、オープンイノベーション事業本部とも連携し、地方創生の核となる分野の共同研究を加速
- ・各分野のコア教員が中心となり、広島大学周辺地域への企業誘致等により産業振興につながる産学官プレイヤーを集積



**デジタルものづくり**  
石井抱教授  
(デジタルものづくり教育  
研究センター)



**エネルギー**  
市川貴之教授  
(A-ESG科学技術  
研究センター)



**半導体**  
寺本章伸教授  
(ナノデバイス研究  
所)



**ヘルスケア**  
田中純子教授  
(医系科学研究  
科)



**メンタルヘルス**  
山脇成人教授  
(脳・こころ・感性科  
学研究センター)



**ゲノム**  
山本卓教授  
(ゲノム編集イノベ  
ーションセンター)



**スマート農業**  
島田昌之教授  
(統合生命科学研  
究科)



**創薬**  
田原栄俊教授  
(医系科学研究  
科)

**HOIP**  
Hiroshima university  
Open Innovation Platform  
ひろしま好きじゃけんコンソーシアム  
Hiroshima LOVE it Consortium



### 広島大学Town & Gown 未来イノベーション研究所

EBPM・DX  
研究部門    イノベーション  
創出部門    地方創生  
研究部門

- ・新たな地方創生モデルの構築に向けた研究
- ・自治体・住民とビジョンを共有しながら、実証研究の成果を普及
- ・広島大学スマートシティ共創コンソーシアムと連携したアントレプレナー人財育成

### 広島大学スマートシティ 共創コンソーシアム

[代表機関] 広島大学    [副代表機関] 東広島市

[参画機関] 住友商事    SoftBank    FUJITA 他

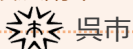
企業版ふるさと納税制度の活用により参画機関から実証研究フィールド整備 (TGOアプリ、通信、自動運転等) の資金調達

## ■Town & Gown構想の広島県内への展開

東広島市に留まらず、広島市及び呉市にTown & Gown構想を展開することで、広島県及び中四国地方全体にイノベーション創出の波及効果



- ・Town & Gown Officeの共同設置も含めて、多面的な連携を模索
- ・広島市とビジョンを共有し、地域の課題解決に向け、東千田キャンパスの活用等による事業展開を検討



- ・Town & Gown Officeの共同設置も含めて、多面的な連携を模索
- ・呉市の保有する資源を活用した、観光・海洋等の分野における事業展開を検討

## ■Town & Gown構想の更なる拡大に向けた経営基盤の強化

Town & Gown構想の更なる拡大に向けた経営基盤 (人財・産学連携体制・研究環境整備等) を強化し、獲得資金の再投資を加速

- ・Town & Gown構想の拡大のための産学連携コーディネーター等の拡充
- ・Town & Gown未来イノベーション研究所の研究支援体制の整備 (専属URAの配置)
- ・エビデンスベースの大学経営基盤の強化 (IR機能の強化)



# 取組② 海外における共創の場形成モデルの展開

## ■インドネシア・チャプターと連携した海外共創プラットフォームの構築

海外で活躍する本学同窓生ネットワーク組織（チャプター）と海外ハブ拠点、本学のステークホルダー（企業、関係機関等）との協働により、Society 5.0やSDGs実現に向けた社会課題解決と新たな価値創造を目指した海外共創プラットフォームを構築

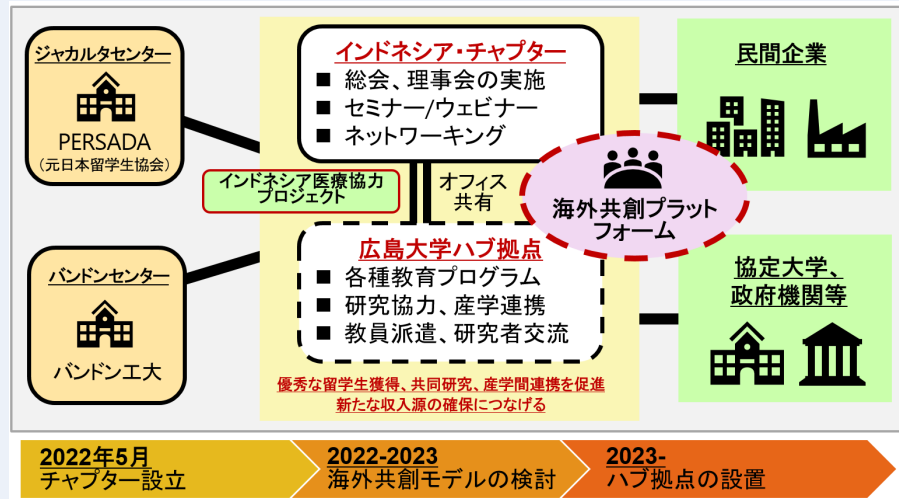
個別テーマに応じて設置する分野別のスタディグループ（SG）に、協賛企業・機関が参画し、産学官民による共同事業等を実施

### 分野別スタディグループ例

- ・サステナビリティ SG
- ・エネルギーSG
- ・インフラSG
- ・DXSG ・保健医療SG
- ・日本語教育SG

### 協賛企業・機関（案）

日系企業、インドネシア企業、大学、研究所（LIPI/LAPAN等）、JICA、JETRO、国際交流基金、Jakarta Japan Club（JJC）、インドネシア地方政府、広島県自治体、NPO等各種団体



海外ハブ拠点（イメージ）

## インドネシアモデルを展開

## ■ベトナムへの海外共創の場形成モデルの展開



インドネシアにおける海外共創の場形成モデルと同様に、チャプターと連携した海外ハブ拠点の活動による海外共創プラットフォームをベトナム（ハノイ）でも展開し、スマートシティ実現に資する分野を核として、人財育成事業においても連携

### 主な連携分野

- AI
- 通信
- エネルギー
- スマート農業



## 新たな海外共創の場形成モデルを展開

## ■その他の国・地域の特性を踏まえた新たな海外共創の場形成モデルの展開

パートナー校との連携による新たな海外共創の場形成モデルの展開

### ・インド

大学の世界展開力強化事業での実績を発展させた共創プラットフォーム形成



### 主な連携分野

AI・デジタル、サービス

### ・アメリカ

アリゾナ州立大学との連携（キャンパス内誘致等）に続く、グローバルキャンパスの拡大



### 主な連携分野

モビリティ、AI・デジタル、半導体、ベンチャー





# 取組③ 大学と地方都市が共に発展するモデルの国内展開

# 取組④ ポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点の構築

## 取組③ 大学と地方都市が共に発展するモデルの国内展開

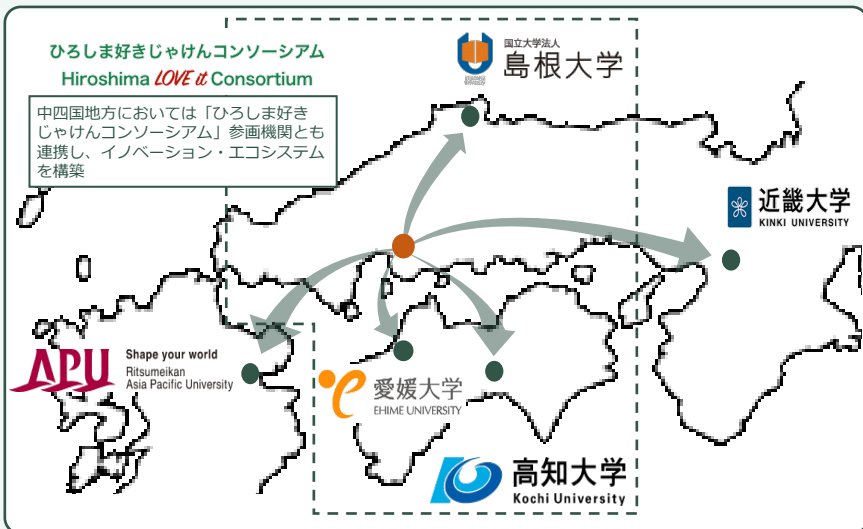
### ■ 目的

- ASUと米・テンピ市による大学と地方都市が共に発展するモデルを日本で初導入し、本学が東広島市と確立したTown & Gown構想に取り組み蓄積したノウハウ・知見を、全国Town & Gown構想推進協議会（仮称）により国内展開
- Town & Gown構想を日本国内に広め、より良いTown & Gown構想の実現に向けて相互に連携・協力
- 「ひろしま好きじゃけんコンソーシアム」参画機関とも連携し、特に中四国地方におけるイノベーション・エコシステムを構築

### ■ スケジュール

- R3年度 呼びかけ開始
- R4年度 準備会開催、設立
- R5年度 各種制度設計、参画機関拡大
- R6年度 Town & Gown認定・認証制度、コンサルティングの試行実施

### ■ 全国Town & Gown構想推進協議会準備会への参加大学



## 取組④ ポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点の構築

- 平和と持続可能性を同時に達成するトランスディシプリナリー研究領域の国際ネットワーク拠点NERPSの強化とネットワーク拡大により世界の人間の安全保障の確立に寄与
- ポストSDGsを主導する世界的なPeace and Sustainability拠点を目指したIDEC国際連携機構を中心とした国際貢献に資する実践研究と人財養成

### ■ 具体的な取組

- 「ロータリー平和フェローシッププログラム」や「Institute of International Education」のプログラム参画による次世代の平和構築をリードする学生・研究者等の受入・派遣
- 超学際共同研究プロジェクトの実施
- 国際貢献をミッションとする機関（国連、世界銀行、海外有力シンクタンク等）への教職員の中長期派遣
- NERPSが取り組む学術研究計画Science Planの策定、SDGs報告書の作成による国際的発信力強化
- 国際的なイベントや行事等に合わせた国際会議・シンポジウム・サマーコース等の開催・共催
- 国際機関・政府機関等の誘致





### ■ 経営改革構想全体

#### 【成果目標】

「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界トップクラスの教育研究拠点の構築

【KPI①】 国際共著論文数	【KPI②】 共同研究件数	【KPI③】 若手教員 (教授、准教授、講師、助教) におけるデニュア又はデニュアトラック制適用者の割合	【KPI④】 自己収入・外部資金収入額 (附属病院収入除く)
R4 : 1,002本 R7 : 1,102本	R4 : 515 件 R7 : 536 件	R4 : 72.2% R7 : 80.0%	R4 : 194億円 R7 : 203億円

#### 取組① Town & Gown構想の推進 - 大学と地方都市が共に発展するデジタル田園都市国家構想の実現モデルの確立 -

##### 【成果目標】

頭脳・資金とノウハウの好循環と各拠点の活性化により資金獲得・再投資の加速を図り、大学と地方都市が共に発展を目指すTown & Gown構想の取組をデジタル田園都市国家構想の実現モデルの一つとして確立する

##### 【KPI①】 基盤構築費の受入額 (累計)

R4 : 2.6 億円 → R7 : 12.0 億円

##### 【KPI②】 共同研究件数 (再掲)

R4 : 515 件 → R7 : 536 件

##### 【KPI③】 TGOアプリと連動した総サービス数 (累計)

R4 : 2 件 → R7 : 6 件

##### 【KPI④】 大学発ベンチャー起業数(累計)

R4 : 59 件 → R7 : 74 件

#### 取組② 海外における共創の場形成モデルの展開

##### 【成果目標】

海外同窓生ネットワーク組織と大学の海外ハブ拠点を中心に産学官が有機的に連携する海外共創の場形成モデルを展開する

##### 【KPI①】 海外ハブ拠点からの支援を受けて起業したベンチャー企業数 (累計)

R4 : 0 件 → R7 : 4 件

##### 【KPI②】 海外機関との共同研究件数

R4 : 3 件 → R7 : 5 件

##### 【KPI③】 受入留学生数

R4 : 2,800 名 → R7 : 3,100 名

#### 取組③ 大学と地方都市が共に発展するモデルの国内展開

##### 【成果目標】

新たなイノベーション創出の可能性を広げ、更なる投資を呼び込むため、大学が実施する教育研究活動や産学官連携、地域連携の取組を中四国地方、全国へと展開する

##### 【KPI①】 全国Town & Gown構想推進協議会 (仮称) 参画機関数

R4 : 6 機関 → R7 : 12 機関

##### 【KPI②】 ひろしま好きじゃけんコンソーシアム参画機関数

R4 : 50 機関 → R7 : 110 機関

#### 取組④ ポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点の構築

##### 【成果目標】

新たな平和科学の理念「持続可能な発展を導く科学」を実践する姿を発信し、本学の国際発信力を高めるとともに、世界での学術的リーダーシップを伴う国際求心力を醸成することで、人間の安全保障の確立に寄与しポストSDGsを主導する新時代の平和研究拠点を構築する

##### 【KPI①】 国際機関・海外研究機関への教職員派遣人数

R4 : 0 名 → R7 : 3 名

##### 【KPI②】 国際共著論文数 (再掲)

R4 : 1,002 本 → R7 : 1,102 本

### ■ 本事業終了後における取組の持続性の担保、学長裁量経費・外部資金との連動

- 本事業により、頭脳・資金とノウハウの好循環を創出し、地方自治体や産業界等からの新たな投資を継続的に獲得し、獲得した資金を教育研究拠点等の充実・拡充に重点投資することで好循環を加速させ自走化する。また、人員配置による機能強化については、地方自治体や産業界からの事業参画による人的リソースの獲得により自走化する。
- 本事業を通じて獲得可能となる経営資金を財源として学長裁量経費を段階的に拡充するとともに、広島大学スマートシティ共創コンソーシアム参画機関から企業版ふるさと納税制度も活用して獲得した資金によりキャンパスに実証研究フィールド基盤構築を行うことで、幅広いステークホルダーからの投資を呼び込み、更なる外部資金の獲得につなげ、持続的な事業規模の維持・拡大を実現する。